

長谷川哲士

つき

私の皮膚はひりひりと
夜風に触れたただけなのに
月の満ち欠けにも
応えて仕舞う様になったのです
心は飛び出もしないのに
身体は何時も先走る
宵の宴もうら淋しく
かかる夜にかぐや姫は
月に還る決意を
したのでしょうか